

茶葉に歴史あり！味わう幻の泡立つお茶体験

振りふり 振茶会

糸魚川
バタバタ茶って
どんなお茶？



新潟県内2会場で開催！

「幻の茶を訪ねて」パネル展無料+振茶券(菓子付)500円
※各会場の入場料が必要になります ※最終日は閉館1時間前に終了



新潟会場

国指定名勝 旧齋藤家別邸

日時:2026年5月8日(金)~10日(日)

9:30~18:00

※パネル展は5月13日(水)まで開催

住所:新潟市中央区西大畑町576

観覧料(一般)300円

5/8(金)
▼
10(日)



糸魚川会場

史跡・相馬御風宅

日時:2026年6月5日(金)~7日(日)

9:00~16:00

住所:糸魚川市大町2丁目10番1号

入館料(一般)200円

6/5(金)
▼
7(日)



共催: 糸魚川ジオパーク協議会・国指定名勝旧齋藤家別邸

協力: 福井市愛宕坂茶道美術館・いなぶ桶茶 茶温会 後援: 新潟県・御風顕彰団体「御風会」

主催・お問い合わせ: 新潟糸魚川バタバタ茶の会 tel. 090-3083-2182(事務局: たかはら) E-mail niigatafuricha@gmail.com

新潟糸魚川バタバタ茶の会

Instagram・X



FURIFURIFURIFURICHA



振茶とは

一般的に泡立てて飲むお茶は抹茶のイメージがありますが、振茶は煮出した茶液を泡立たせてから飲むお茶の習俗です。

新潟県にのこる唯一の振茶 「糸魚川バタバタ茶」

糸魚川に古くから伝わる「バタバタ茶(タテ茶)」は、カワラ茶や炒り大豆、ほうじ茶、茶の花を煮出し、少量の塩を加え、夫婦茶筥で泡立てて飲む珍しい風習です。名前の由来は、茶をたてる際に立つ「バタバタ」という音とも言われています。



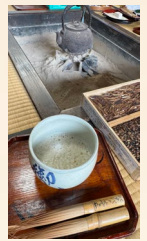
昨年、暑い中お越しいただいた皆様、ありがとうございました。おかげさまで今年も開催できます。みなさまのお越しをお待ちしております。

ふりふり振茶会

相馬御風は、良寛研究者として世界に良寛の魅力を伝えるとともに、郷土の民俗風習にも関心を寄せ、随筆『野を歩むもの』で『タテ茶(バタバタ茶)』を「一挙四徳の良い風習」と紹介しました。糸魚川バタバタ茶は新潟県に残る唯一の振茶文化です。この素晴らしい文化を広めるため、パネル展で振茶文化を学び、糸魚川バタバタ茶を楽しむイベントを新潟県内2会場で開催します。



令和7年新潟会場「ふりふり振茶会」の様子



糸魚川会場の囲炉裏族

Event 1

糸魚川バタバタ茶を飲んで体験【振茶券500円(菓子付)】

指導:石田千枝子(元糸魚川バタバタ茶の会・会長)

ぜひこの機会に「糸魚川バタバタ茶」をお楽しみください。期間中、日程によっては、石田さんの指導ではない場合があります。

※糸魚川バタバタ茶の提供は、各会場閉館時間の30分前までとなります



糸魚川バタバタ茶を親子で体験



愛知の振茶「いなぶ桶茶」

日本にあるほかの地域の振茶も楽しめます

[新潟] 5月8日(金) [糸魚川] 6月6日(土)

愛知県の振茶「桶茶」実演:中根めぐみ(愛知県豊田市稲武地区の振茶「いなぶ桶茶」)

「桶茶」は文化庁が認めた100年フードにも認定され、江戸時代の桶茶道具は有形文化財です。

Event 2

日本茶々茶お茶紀行「幻の茶を訪ねて」パネル展

令和6年に福井市愛宕坂茶道美術館で開催された全国に残る幻の茶を紹介したパネル展を、新潟で初展示します。※最終日は閉館30分前終了

パネル解説会:[新潟] 5月8日(金)10時・11時・13時、[糸魚川] 6月6日(土)10時・11時・13時
各回定員10人、解説料500円

解説担当:高島礼(福井市愛宕坂茶道美術館・学芸員)



Event 3

糸魚川バタバタ茶紙芝居&御風随筆朗読【約30分】

①12:00~ ②14:00~ ※各会場開催日

子どもから大人まで楽しめる、わかりやすい紙芝居で、糸魚川に伝わる「バタバタ茶」の魅力をご紹介します。さらに、御風の随筆『タテ茶(バタバタ茶)』を、新潟を拠点に活動する「越後語り座」が朗読でお届けします。

私たちは「ふりふり振茶会」を応援しています

糸魚川バタバタ茶製造販売 正香園・糸魚川市池原菓子舗・
NPO法人塩の道資料館(糸魚川)

